

# 山梨県北杜市で 自然エネルギー100%のエコハウスつくります



日照時間が全国一位の山梨県北杜市で、化石燃料に頼らず自然エネルギー100%で生活のいっさいをまかなうエコハウスをつくるプロジェクトを進めています。

## 名前は「ハケ岳エコハウス『ほくほく』プロジェクト」

空き家になっていた築40年の平屋を、どうしたら気密と断熱性能の高い家にリノベーションし、太陽光や薪といった自然エネルギー100%で暮らしが成り立つエコハウスに変えられるのか。

各分野の専門家が山梨に結集し、政府が2050年を目標に設定した脱炭素社会をいまの時代に実現し、全国に普及する先駆け、モデルになるようなエコハウスをつくらうと活動しています。

11月27日(土)に一般向けに「珪藻土塗りワークショップ」を開くのにあわせて、「ほくほく」をマスコミ公開します。プロジェクトのこれまでの歩みや「ほくほく」が描く未来の暮らしもレクチャーします。

ぜひ取材にお越し下さい。



また、プロの指導で壁塗りも体験してみてください。

### 珪藻土 壁塗りワークショップ

日時：2020年11月28日(土) 10時～17時 (レクチャーは10時15分開始予定)

場所：山梨県北杜市須玉 (問い合わせ時に詳しい住所をお伝えします)

参加：15人ほどを予定

取材は随時対応します

### ■ハケ岳エコハウス「ほくほく」プロジェクトとは

2019年春に本格始動。築40年の家をリノベーションする過程や技術は広く一般公開する方針で、部分解体、断熱施工などのワークショップを重ね、これまで延べ50人以上が参加し、一般の人のみならず、建築関係のプロなどもボランティアでエコハウスづくりに参加してきた。

代表を務めるのは東京の会社員、斎藤健一郎。東日本大震災を機に、極力電力会社の電気に頼らない5アンペア生活を実践し、月の電気代を170円まで下げた経験がある。設計と施工のリーダーは富士吉田市の「梶原建築」の代表・梶原高一。3代続く大工で、2018年には地元「向原の家」で日本エコハウス大賞リノベーションの部で奨励賞を受賞した。一級建築士でもある。

プロジェクトには世界レベルの国産木製サッシをつくる「山崎木工」(長野)や、電気を完全自給自足する「オフグリッド」の専門家「中津川電設」(千葉)、温泉施設の給湯を薪でつくる薪ボイラーを全国各地に設置している「森の仲間たち」(岐阜)、日本で最も歴史のある太陽熱温水器メーカー「チリウヒーター」(岐阜)などが協力し、工事に使う電源もすべて自然エネルギーでまかなっている。



【問い合わせ先】ほくほくプロジェクト (斎藤)

電話：090-1602-7129 メール：ecohoku@gmail.com